

価値創造モデル

# オリンパスの価値創造モデル

**OUR PURPOSE**  
私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling

**世界の人々の健康と安心、  
心の豊かさの実現**

**Strength**

**顧客との信頼関係をベースに築いた  
強固なポジション**

- ▶ 消化器内視鏡のグローバルシェア約70%
- ▶ ドクターへのトレーニングをグローバルに実施
- ▶ 新興市場に先駆けて参入し、医師との信頼関係を構築
  - 1972年の日中国交正常化以来、中国市場にて約50年の信頼関係を構築
  - 1975年にシンガポールに駐在員事務所を設置

**グローバルかつ強固な経営基盤**

- ▶ 医療従事者にトレーニングの場を提供することを目的とした、トレーニングセンター約17拠点
- ▶ 世界の医療機器メーカーの中で業界トップクラスのサービスネットワークを構築
- ▶ 治療機器事業のグローバル統括拠点を米国に設置
- ▶ 信用格付A(R&I)、BBB+(S&P)、Baa2(Moody's)
- ▶ 機関投資家・証券アナリストとの対話約990回\*1

**高品質で先進的な製品を生み出す技術力**

- ▶ 世界で最も革新的な企業トップ100に10回選出
- ▶ 質の高い知的財産ポートフォリオを構築し、オリンパスグループで約20,000件\*2の特許を保有
- ▶ 創業以来築いてきた強固なノウハウ・光学技術
- ▶ 多品種少量生産を実現するものづくり力

**高い専門性を有した多様な人材**

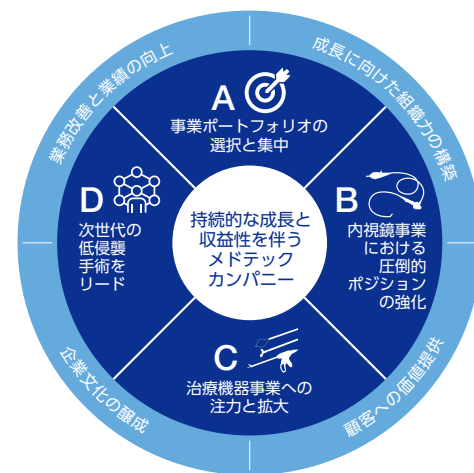
- ▶ グローバル・メドテックカンパニーを目指し、グローバルポジションに専門性の高いタレントを採用
  - 治療機器事業を中心としたさらなる成長のため、事業開発の専門部門を米国に設置、タレントを採用し、複数のM&Aを実施
  - グローバルにおける外国人役職者の割合約51%\*3
- ▶ 実行力強化研修に累計約6,000名が参加、グローバルコミュニケーション力強化プログラムに累計約4,500名が参加\*2



**Strategy**

**Corporate Strategy**

真のグローバル・メドテックカンパニーへの飛躍  
持続的に成長できる企業文化・体質の実現



**6つのESG領域に注力**

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. コーポレートガバナンス | 4. 環境   |
| 2. 経済的持続性      | 5. 人的資源 |
| 3. 製品の持続可能性    | 6. 社会   |

**オリンパスの重要課題(マテリアリティ)**

- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上
- コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- 責任あるサプライチェーンの推進
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進
- 社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献

**Social Outcome**

**顧客を通じた、患者さん、国・社会への価値提供**



**患者さん**

- 世界の人々の健康に貢献
- 早期診断・低侵襲治療をベースに、対象疾患における医療水準の向上に貢献し、患者さんのアウトカムを改善

**5,000**万件

大腸内視鏡件数/年\*4

**100**

適応可能な疾患数\*5

**顧客との協業により築いた信頼関係**

**顧客** (医療機関、研究機関、製造業等)

- 早期診断・低侵襲治療により、医療効率・医療経済性の向上に貢献
- 生物・医学研究、病理研究に貢献
- 産業の効率化、検査品質向上に貢献

**国・社会**

- 早期診断・低侵襲治療により、医療費の抑制に貢献
- 医療の未来へ貢献
- 暮らしの安心・安全に貢献

**Financial KPI**



年率 **5-6%**  
売上高成長率



**>20%**  
営業利益率\*6

\*1 2022年3月期  
\*2 2022年3月末時点  
\*3 2022年7月1日時点のグローバルシニアマネジメントにおける割合  
\*4 自社調べ、グローバル：米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国、ポーランド、日本、中国、韓国、オーストラリア、インド、ロシア/2019年時点  
\*5 当社はさまざまな治療に役立つ医療機器を提供しており、2022年3月現在100の疾患に適応可能  
\*6 営業利益から、「その他の収益・その他の費用」を差し引く。為替変動の影響については調整を行わず、実績の為替レートをを用いる